



建築家・デザイナー・ファシリテーター
株式会社イチバンセン 代表取締役
nextstations共同代表

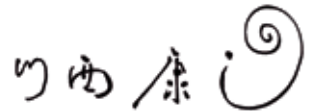
かわにし やすゆき
川西 康之 さん
東京都品川区在住
川西町出身

私は川西町で生まれ育ち、大学進学から奈良県を離れました。私の仕事は、家具から建築設計、鉄道車両デザイン、街づくりなど。仕事の知識の基礎は大和郡山駅前の本屋で学び、この道に進もうと決めました。

大学卒業後の6年半、仕事で欧州各地に滞在しました。パリやロンドンに負けない歴史と文化を持つ奈良県出身であることの誇りを深めました。同時に西洋の模倣ではなく、日本人らしく自然に寄り添うデザインを希求したいと思うようになりました。単なる設計にとどまらず、議論や組織の仕組み創りから、例えば奈良県産木材を活かして地域経済の循環まで創ることが大事だと心掛けています。

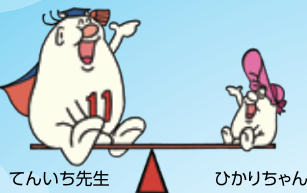
祖父と祖母が眠る河合町の墓地から眺める奈良盆地が大好きです。ただ、近年は自己主張の強い看板や経済性優先の構造物が、美しい風景を乱している気がしてなりません。同じシルクロードの西の果てにある欧州では窓辺のカーテンの色に至るまで厳しく規制され、風景を維持しています。伝統を守る民衆の意思こそ、世界中から観光客を惹き付ける要素なのです。

奈良県には、世界が刮目する寺社建築や集落がたくさんあります。奈良のさまざまな遺産を、未来の生活に生かせる仕事で貢献するのが夢です。



人権コーナー

毎月11日は
人権を
確かめあう日



てんいち先生 ひかりちゃん

今月の標語

つらいこと 言えないことが
つらいこと

県立奈良高等学校 3年
ななおむら
直川 史寛さん



今月のポスター

王寺町立王寺南小学校 6年
かしま ななせ
鹿島 七星さん

地域みんなで支え合う

奈良県内では、平成25年の1年間に、65歳以上の高齢者が、家族の人から暴力を振るわれたり、大声で怒鳴られたり、食事や排泄の介護をされずに放置されるといった虐待が115件発生しました。

虐待を受けた高齢者の気持ちを考えると、とても悲しいことですが、虐待をした家族を責めるだけでは何も解決しません。認知症になった高齢者の介護をしている家族の中には、心身ともに疲れ正しい介護の仕方や接し方が判らなくなる時もあります。こんな時、些細なことをきっかけに、きつい言葉や態度で当たってしまい、やがて虐待へとエスカレートすることがあります。

家族の人達も悩み、そして虐待をしてしまったことに苦しんでいます。周囲の人のさりげない見守りや気遣いの言葉に救われることもあります。

学校や企業、自治会等多くの人達が認知症に対する理解を深めることで、地域みんなで支え合い、認知症の人とその家族を孤立させない社会を実現することが必要です。

クイズ&プレゼント

○○○○に当てはまる文字を
答えてください。

Q 県立4文化施設を1年間
何度でも利用できる
パスポートの名前は？

A **奈良県立ミュージアム**
○○○○**パスポート** ヒントは
6ページ

7月号の答えは“パーク”でした。応募総数250件。

正解者の中から抽選で

「まがたまトレイ」を

(15ページで紹介)

5名の方にプレゼント!



締め切りは9月30日(消印有効)

※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも9/1以降応募できます。